



山形県感染症発生動向調査

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>
2016年10月18日 発行

平成28年第41週(10月10日~10月16日)

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少 ※ :警報レベル :注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県) 第1~41週
	第40週	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	1111 0.23	1 0.02	7 0.15	▲				1 0.20	7 1.40	▲							13938
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	7273 2.32	206 7.10	173 5.77	▼	99 7.62	99 7.62		11 3.67	8 2.67	▼	77 12.83	60 10.00	▼	19 2.71	6 0.75	▼	893
咽頭結膜熱	806 0.26	10 0.34	3 0.10	▼	8 0.62	2 0.15	▼				2 0.33	1 0.17	▼				647
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	5038 1.61	88 3.03	80 2.67	▼	42 3.23	49 3.77	▲				42 7.00	26 4.33	▼	4 0.57	5 0.63	▲	5691
感染性胃腸炎	11574 3.69	51 1.76	52 1.73	▼	17 1.31	12 0.92	▼	10 3.33	8 2.67	▼	16 2.67	14 2.33	▼	8 1.14	18 2.25	▲	6927
水痘	895 0.29	10 0.34	6 0.20	▼	4 0.31	5 0.38	▲				5 0.83	1 0.17	▼	1 0.14		▼	406
手足口病	4350 1.39	16 0.55	15 0.50	▼	8 0.62	9 0.69	▲				5 0.83	3 0.50	▼	3 0.43	3 0.38	▼	324
伝染性紅斑	374 0.12	1 0.03	2 0.07	▲							1 0.17	2 0.33	▲				1453
突発性発しん	1489 0.47	21 0.72	16 0.53	▼	7 0.54	4 0.31	▼	2 0.67	2 0.67		5 0.83	5 0.83		7 1.00	5 0.63	▼	789
百日咳	65 0.02	1 0.03	2 0.07	▲	1 0.08	2 0.15	▲										18
ヘルパンギーナ	3210 1.02	132 4.55	26 0.87	▼	39 3.00	7 0.54	▼	6 2.00		▼	56 9.33	9 1.50	▼	31 4.43	10 1.25	▼	2808
流行性耳下腺炎	3478 1.11	60 2.07	35 1.17	▼	24 1.85	12 0.92	▼	11 3.67		▼	24 4.00	22 3.67	▼	1 0.14	1 0.13	▼	2454
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	9 0.01																1
流行性角結膜炎	665 0.97	2 0.25	2 0.25		1 0.25		▼				1 1.00	1 1.00			1 0.50	▲	59
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	4 0.01		1 0.10	▲		1 0.25	▲										19
クラミジア肺炎	9 0.02																4
マイコプラズマ肺炎	631 1.33	4 0.40	4 0.40		2 0.50	1 0.25	▼							2 0.67	3 1.00	▲	108
細菌性髄膜炎	17 0.04																6
無菌性髄膜炎	30 0.06		1 0.10	▲											1 0.33	▲	12

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	2				
E型肝炎	患者			1		
アメーバ赤痢	患者	1				
梅毒	無症状病原体保有者			1		
クロイツフェルト・ヤコブ病	患者	1				※第40週追加報告分。
侵襲性肺炎球菌感染症	患者				1	※第40週追加報告分。肺炎球菌ワクチン接種歴無し。

<通信欄>

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ		1						1			1	4			
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79	80歳～									合計
															7
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	15	41	67	28	11	7	2	1	1						173
咽頭結膜熱			1		2										3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2	4	7	15	15	12	8	8		8	1		80
感染性胃腸炎	1	4	9	4	4	6	4	4	2	4	2	5	1	2	52
水痘						1	1	1		1		2			6
手足口病			8	1	3		1	2							15
伝染性紅斑				1								1			2
突発性発しん	1	4	8	2		1									16
百日咳									1			1			2
ヘルパンギーナ		4	9	2	8		2	1							26
流行性耳下腺炎			2	2	3	7	7	4	6	1	1	1	1		35

< 平成28年9月 月報 >

2016年10月18日 更新

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～9月	
	8月	9月	8月	9月	8月	9月	8月	9月	8月	9月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	14	16	3	7	7	4	1	3	3	2	167
	定点当り	1.40	1.60	0.75	1.75	7.00	4.00	0.50	1.50	1.00	0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	8	4	3	1	1	1	3	2	1		53
	定点当り	0.80	0.40	0.75	0.25	1.00	1.00	1.50	1.00	0.33		
尖圭コンジローマ	報告数	2	4	1	4					1		26
	定点当り	0.20	0.40	0.25	1.00					0.33		
淋菌感染症	報告数	2	4					2	2	2	2	18
	定点当り	0.20	0.40					1.00	0.67	0.67		
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	9	1	1		1			7	1		51
	定点当り	0.90	0.10	0.25		1.00			2.33	0.33		
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	16	13	6	4	1	3	2	9	4		151
	定点当り	1.60	1.30	1.50	1.00	1.00	3.00	1.00	3.00	1.33		
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											
	定点当り											

< トピックス >

【RSウイルス感染症情報】

RSウイルス感染症の県全体の定点当たり報告数が、過去5年間に比べて高いレベルで推移しています。

今後の動向に注意し、感染予防に努めましょう。

RSウイルス感染症とは

RSウイルスの感染による呼吸器の感染症で、秋から冬にかけて流行します。2歳までには、ほぼすべての乳幼児が感染するとされています。

【症状】

潜伏期間は2～8日で、症状は軽い風邪様から重い肺炎まで様々です。初めて感染した場合は重くなるといわれており、特に乳児期早期(生後数週間～数ヶ月間)にRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。

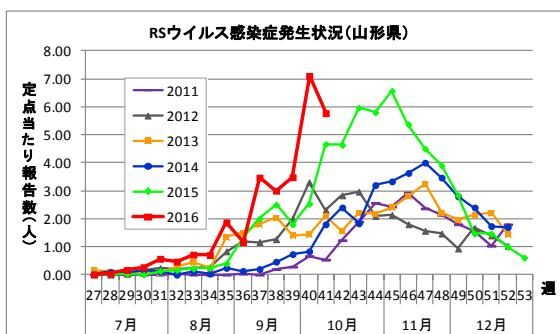
【予防法】

咳やくしゃみなどの飛沫感染、感染者との直接の濃厚接触、ウイルスが付着した手指や物を介した間接的な接触で感染します。

マスクの着用、子供たちが日常触れるおもちゃ、手すり等はアルコールや塩素系の消毒剤等で消毒し、手洗いをこまめに行うことが大切です。

(参考URL : 厚生労働省 RSウイルス感染症Q&A

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html)



【インフルエンザ情報】

1 定点医療機関情報(第41週)

迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数
最上地区:A型 7件

2 集団発生情報

(山形県健康福祉企画課まとめ 第41週)

最上地区:小学校 1件

※第40週週報でお知らせしている県内の今シーズン初の集団発生事例です。

3 インフルエンザウイルス検出状況(衛生研究所 10月18日現在)

今シーズン、最上地区の患者から、A香港型 1検体が検出されています

インフルエンザは、毎年、冬に流行し、私たちの健康に大きな影響を及ぼす代表的な呼吸器感染症です。感染力が強く、いったん流行が始まると短期間に多くの人へ感染が拡大します。

手洗いでインフルエンザを予防し、かかったら、マスク等咳エチケットを心がけましょう。

こまめな手洗いとマスク着用を心がけ、体調管理に努めましょう。「かかったかな」と思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。

